

主な用語の説明

クレーン強度定格総荷重

クレーン本体の強度と作業半径に基づいた吊上げ性能です。フックなど吊具の質量も含んだ数値で表しています。

空車時定格総荷重

トラックの荷台に積荷がない状態（空車時）での安定度と作業半径に基づいた吊上げ性能です。フックなど吊具の質量も含んだ数値で表しています。

最大クレーン容量

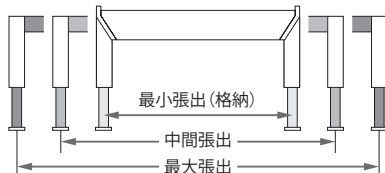
クレーンの最大性能で、吊上げ荷重を何mの作業半径まで吊れるかを表しています。例えば、「2.93t × 1.6m」とは、吊上げ荷重「2.93t」を「1.6m」の作業半径まで吊れることを表しています。

作業半径によって変化する性能

クレーンは、作業半径が大きくなるにしたがって、ブームの強度や安定度が低下するため、吊上げ性能も低下します。ブームの「伸」や「伏」操作を行う時は、作業半径が大きくなるので十分に注意してください。

アウトリガ張出幅によって変化する性能

クレーンの安定度は、アウトリガ張出幅によって変わります。張出幅が狭いほど安定度は低下するため、吊上げ性能も低下しますので、通常は、最大張出で作業してください。中間張出時は最小張出時の性能で作業してください。

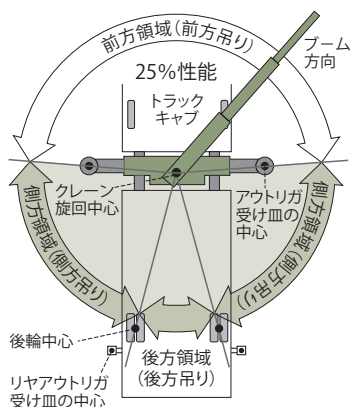


作業領域によって異なる性能

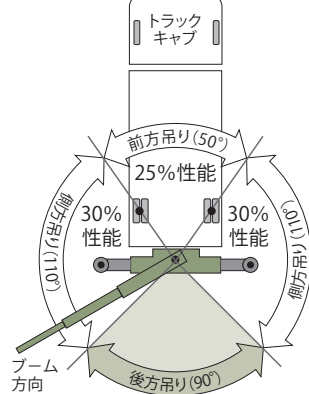
「前方吊り」とは、クレーン旋回中心と両方のアウトリガ受け皿の中心とを結ぶ線より、トラックキャブ側でのクレーン作業をいい、定格総荷重表に記載されている数値の25%以下で作業を行ってください。

「後方吊り」とは、クレーン旋回中心と両方の後輪中心とを結ぶ線の内側になります。但し、リヤアウトリガを使用した場合は、クレーン旋回中心と両方のリヤアウトリガ受け皿の中心とを結ぶ線の内側になります。リヤ架装の場合は、キャブバック架装に比べ、側方吊りの性能が大きく変わりますのでご注意ください。

キャブバック架装時

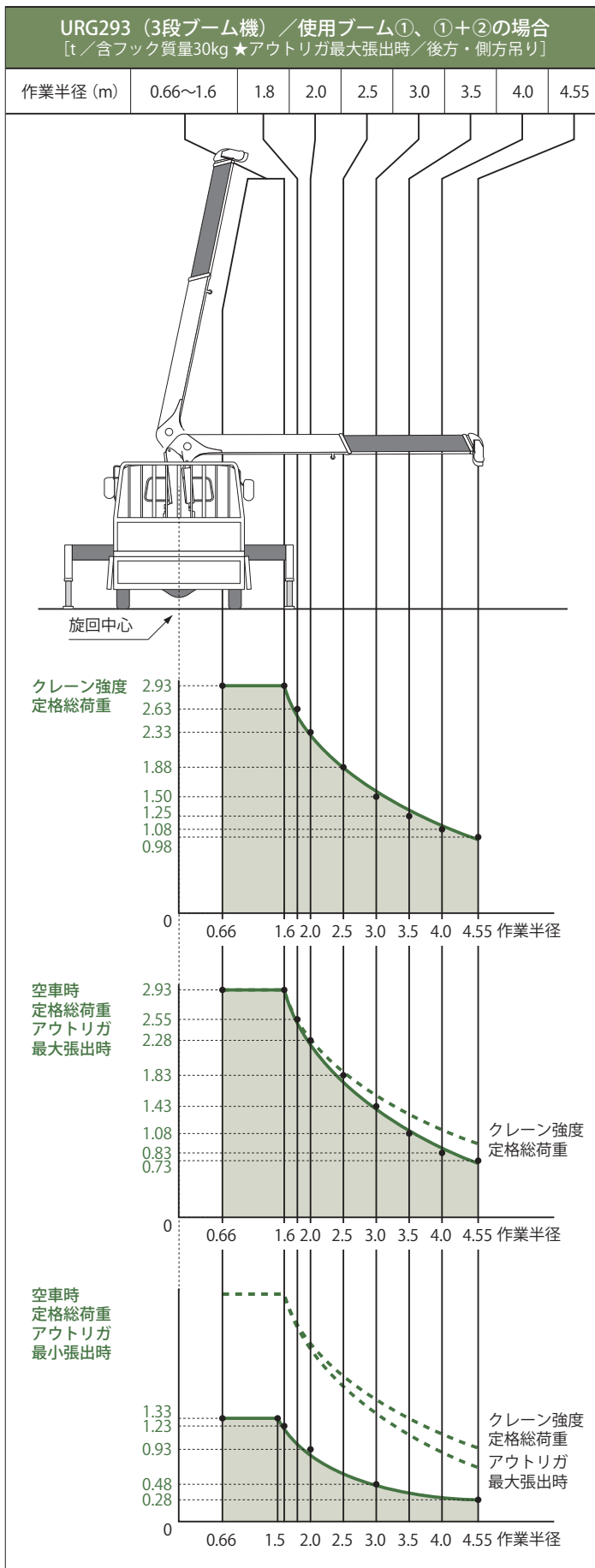


リヤ架装時

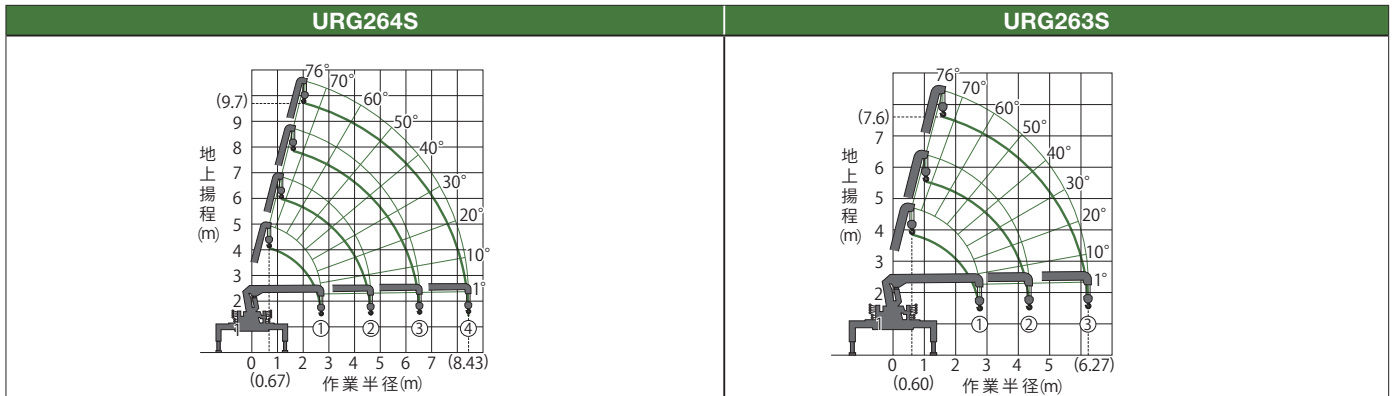


定格総荷重の違い

定格総荷重の違いを図示しています。作業半径と吊れる荷重の関係が、
■部の面積で表されています。



クレーン型式名/ブーム段数	URG264S/4段	URG263S/3段
架装対象車(各社)	GVW5~8トンクラス (車両全幅1,860mm未満、またはホイールベース2,750mm未満)	GVW5~8トンクラス (車両全幅1,860mm未満、またはホイールベース2,750mm未満)
空車時最大クレーン容量	2.63t×1.6m	2.63t×1.6m
クレーン強度最大クレーン容量	2.63t×1.6m	2.63t×1.6m
最大作業半径	8.43m	6.27m
最大地上揚程(約)	9.7m	7.6m
フック巻上速度(ロープ掛数4)	14.5m/min(4層目)	14.5m/min(4層目)
ブーム伸長速度(ブーム長さ)	5.73m(2.88m~8.61m)/12.5s	3.81m(2.64m~6.45m)/11.5s
ブーム上げ速度	1°~76°/6s	1°~76°/6s
旋回範囲/速度	360°(連続)/2.5rpm	360°(連続)/2.5rpm
巻上ロープ(構成・種類)	IWRC 6×WS(26) B種 φ8mm×54m [切断荷重:42.4kN(4.32tf)]	IWRC 6×WS(26) B種 φ8mm×44m [切断荷重:42.4kN(4.32tf)]
ブーム伸縮装置	複動形油圧シリンダ直押し2本+ワイヤロープ式伸縮装置 (2段目順次、3・4段目同時作動)	複動形油圧シリンダ直押し2本 (2・3段目順次作動)
ブーム起伏装置	複動形油圧シリンダ直押し	
巻上装置	油圧モータ駆動+平歯車減速式 メカニカル自動ブレーキ [エコプレミアム仕様:油圧モータ駆動+遊星歯車減速式 油圧モータ内蔵自動ブレーキ]	
旋回装置	油圧モータ駆動+ウォーム減速+平歯車減速式(ボールベアリング支持) ウォームセルフロック	
アウトリガ	《横》手動引出し/最大張出幅:2.6m 中間張出幅:2.1m 最小張出幅:1.546m 《縦》複動形油圧シリンダ直押し	
クレーン操作方式	手動操作レバー及び、ラジコン併用方式(マニュアル仕様は除く)	
アクセル操作方式	油圧制御式パワーオート・アクセル(操作レバー連動式)及び、単独アクセルレバー	
フック格納方式	専用スイッチによる自動格納式	
旋回ロック方式	旋回操作レバー連動による自動ロック式	
油圧ポンプ	形式:ギヤ形 定格圧力:20.6MPa(210kgf/cm ²) 定格吐出量:45ℓ/min	
作動油タンク容量	22ℓ	
安全装置	油圧安全弁/油圧自動ロック装置/デジタル式荷重計/巻過防止装置/荷重指示計/水準器/警報ブザー/玉掛ワイヤロープはずれ止め/PTO作動表示灯/ブーム・アウトリガ未格納警報装置/[セイフティ、スマートセイフティ仕様:過負荷警報装置(強度・転倒)/前方領域検出装置/高さ制限装置]	



		URG264S											
使用ブーム	作業半径(m)	0.67~1.6	1.8	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	8.43
①、①+②	クレーン強度定格総荷重(t)	2.63	2.23	2.03	1.63	1.33	1.13	0.98	0.83(4.63m)				
	空車時定格アウトリガ最大総荷重(t)	2.63	1.83	1.38	0.88	0.63	0.48	0.40	0.30(4.63m)				
①+②+③	クレーン強度定格総荷重(t)			1.28(2.8m)	1.23	1.08	0.93	0.70	0.58	0.53(6.53m)			
	空車時定格アウトリガ最大総荷重(t)			1.23	—	0.63	0.48	0.38	0.28	0.20	0.15(6.53m)		
①+②+③+④	クレーン強度定格総荷重(t)					0.70	0.70	0.70	0.55	0.45	0.38	0.33	0.31
	空車時定格アウトリガ最大総荷重(t)					0.68	0.48	0.38	0.28	0.20	0.15	0.13	0.10
作業禁止													

		URG263S									
使用ブーム	作業半径(m)	0.60~1.6	1.8	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	5.0	6.27	
①、①+②	クレーン強度定格総荷重(t)	2.63	2.23	2.03	1.63	1.33	1.13	0.98	0.93(4.35m)		
	空車時定格アウトリガ最大総荷重(t)	2.63	1.93	1.63	1.13	0.83	0.68	0.58	0.58(4.35m)		
①+②+③	クレーン強度定格総荷重(t)			1.28(2.8m)	1.23	1.08	0.93	0.70	0.56		
	空車時定格アウトリガ最大総荷重(t)				1.13	0.83	0.68	0.58	0.43	0.33	
①+②+③	クレーン強度定格総荷重(t)				0.53	0.43	0.33	0.28	0.18	0.13	
	空車時定格アウトリガ最大総荷重(t)				0.53	0.43	0.33	0.28	0.18	0.13	

⚠ 注意事項 本表は、アウトリガを使用し、クレーンを水平設置した時の性能で、負荷時のブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
クレーン強度定格総荷重:セイフティ、スマートセイフティ仕様のみ、クレーンに十分な安定度が得られる場合には、本性能まで作業が可能です。
定格総荷重: 本表の性能はフックなど吊具の質量(30kg)が含まれています。 **アウトリガ張出幅:** アウトリガ中間張出時は、最小張出の性能で作業してください。
前方領域: 前方吊りの定格総荷重は本表の25%です。 **ブーム長さ:** 次のブームが少しでも伸びたら、次の段の性能で作業してください。

URG265 4段目ブーム側板の マークが3段目ブームから離れたら5段です。①+②+③+④+⑤の性能で作業してください。4段、5段での前方吊りは禁止です。
URG264(S) 3段目ブーム側板の マークが2段目ブームから離れたら4段です。①+②+③+④の性能で作業してください。